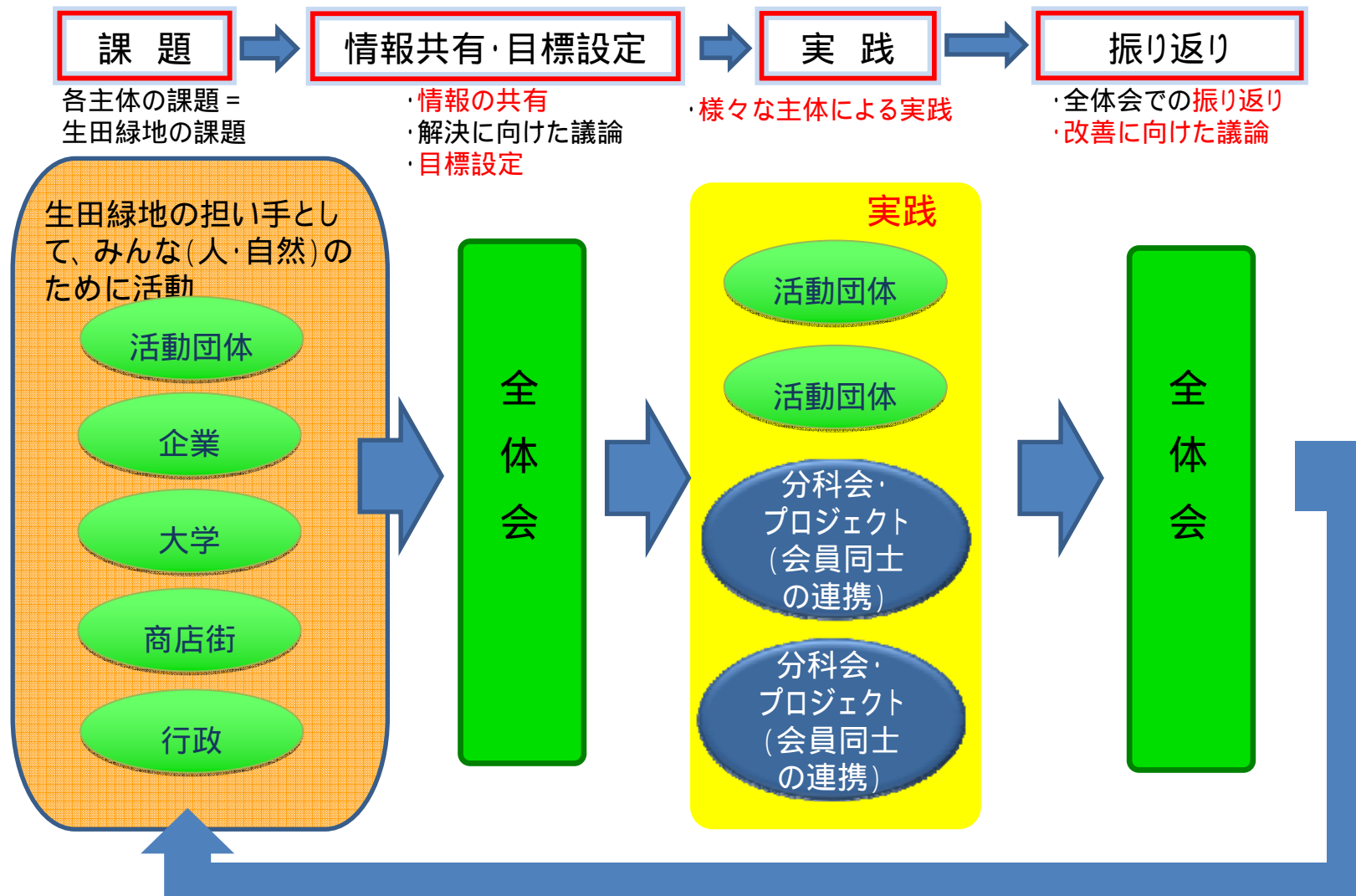


生田緑地マネジメント会議のあり方(サイクル)イメージ



生田緑地で行われる各種活動について、全体会で共有し、実践、振り返り、改善することにより、個々の主体の活動も含めて、生田緑地全体としての取組を成長させていく。
市民の財産である生田緑地の価値と魅力の向上のために、保全と利用の調整を図りながら、みんな(人・自然)のためにサービスを提供する。(生田緑地の担い手)

生田緑地マネジメント会議 構成イメージ

生田緑地マネジメント会議

全体会

保全と利用のバランス

(例)

(仮称) 植生管理分科会

分科会・プロジェクト

××分科会・プロジェクト

⋮

活動団体等

活動団体等

植生管理協議会の機能を引き継ぐ(仮称)植生管理分科会を設置する など、生田緑地の課題解決に向けて会員同士が連携し活動内容ごとに「分科会」を設置する。

分科会や各主体の活動を尊重する

両協議会とマネジメント会議の機能

管理運営協議会

- 【目的】 会則より
- 市民と行政の協働による管理の推進
 - 市民活動団体のネットワークによる情報の共有化
 - 生田緑地の魅力を広く発信する

植生管理協議会

- 【目的】 会則より
- 植生管理計画の基本理念に基づき、生田緑地の植生管理について共通認識を深める場の提供
 - 市民と川崎市との協働による適切な植生管理
 - 植生管理に係る実践活動・意見交換等、人材育成(市民部会)

生田緑地マネジメント会議

- 【生田緑地ビジョンにおける位置づけ】
- 生田緑地にかかわる多様な主体が相互に連携・調整しながら管理運営に参加する「協働のプラットフォーム」
 - 生田緑地の魅力向上に向けた多様な主体の連携事業の企画、運営、調整などの推進